

# 関西広域産業ビジョンの改訂について

2018（H30）年7月20日

第2回関西広域産業ビジョン改訂委員会 資料

	Page
1. 検討スケジュール	2
2. これまでの主な取組み（戦略1～4）	3～6
3. 目標の状況	7～8
4. 改訂の方向性	9～11

# 1. 検討スケジュール

## ■改訂委員会での検討内容（案）

### 第1回(5月28日)

- ・検討スケジュール、現状及び課題認識の共有
- ・現行ビジョンの構成確認、改訂の方向性を提示し意見交換  
→関西を取り巻く状況

### 第2回(7月下旬)

- ・前回の議論(現状・課題認識、取り巻く状況)を確認後、意見交換  
→関西が目指す将来像について  
→目標値について  
→戦略について

### 第3回(9月下旬)

- ・中間案(骨子)をもとに意見交換 ⇒ 全体構成のイメージを共有  
→ ・前文  
    ・目指すべき将来像、目標値  
    ・戦略

### 第4回(11月中旬)

- ・中間案の提示  
→前回議論をもとに、文章化したもので意見交換

### 第5回(1月中旬)

- ・最終案の提示  
→産業環境常任委員会(12/8)及びパブリックコメント(12月)の結果報告  
(中間案からの変更箇所を報告)

## 2. これまでの主な取り組み 戦略1：世界の成長産業をリードするイノベーション創出環境・機能の強化

### ○これまでの主な取り組み

- 特区（関西イノベーション国際戦略特区、国家戦略特区）  
国際競争力向上のためのイノベーションプラットフォームの構築に向け、関西の自治体（京都府、大阪府、兵庫県、京都市、大阪市、神戸市）が国に共同申請し、平成23年12月に**9地区**が「**関西イノベーション国際戦略総合特区**」として地域指定を受ける。（**全国最多となる51プロジェクト、93案件**が計画認定）  
また、**国家戦略特区**については、関西圏（大阪府・兵庫県・京都府）における**認定事業数は27**となっている。
- 医療機器相談（2013[H25]年度～）  
ものづくり企業の**医療機器分野への参入を支援**するため、事業化に向けた様々なステージにおける相談事業を実施
- メディカル・ジャパン（2014[H26]年度～）  
医療に関する総合展「メディカルジャパン」を誘致し、ビジネスの場の創出や関西のポテンシャルを発信  
⇒2018[H30]年2月に開催した第4回メディカルジャパンでは、31,245名の来場、1,225社の出展があり、開催3日間で**37.3億円の経済効果**(主催者集計)があった。
- グリーン・イノベーション研究成果促進フォーラムの開催（2014[H25]年度、2016[H27]年度～）  
関西が高い産業ポテンシャルを有するグリーン分野での広域連合域内の大学・研究機関等の研究成果を域内外の企業に広く発信し、シーズの企業化を促進するため、「グリーン・イノベーション研究成果企業化促進フォーラム」を開催。

関西イノベーション国際戦略総合特区や関西圏の国家戦略特区の指定など、関西の国際競争力向上のためのイノベーションプラットフォームの構築が進みつつある。また、メディカルジャパンにより関西のポテンシャルを国内外に広く発信。来場者数は初回比で約13%増と順調に成長。マッチング実績も上がっている。

⇒研究機関等が集積するメリットを活かしつつあるものの、国際的な研究開発拠点の形成という点では道半ば。  
成長産業分野での世界のセンター機能を果たすため、**グリーン及びライフ分野のさらなる深化について検討が必要。**

### ○これまでの主な取り組み

- 大企業とのビジネスマッチング（2012[H24]年度～2015[H27]年度）  
府県市が実施するビジネスマッチング事業について、広域連合枠を設定。構成府県市主催の商談会を相互活用。
- 海外企業との経済交流（2016[H28]年度）  
関西企業が多数出展する大規模展示会等に海外機関や企業などを招聘。関西の産業ポテンシャル等のプロモーションを展開。
- 公設試の連携（2012[H24]年度～）  
域内の工業系公設試験研究機関の機器利用料金について、域内企業の利用時には割増料金を解消。  
各公設試の保有機器・依頼試験の検索機能や取組情報等の紹介機能を持つポータルサイト（関西ラボねっと）を運用。公設試間の連携を深めるため、内部向け及び外部向け研究会を実施。
- 海外展開支援（2012[H24]年度～）  
大阪府が世界7地域に設置している海外の企業支援拠点（ビジネスサポートデスク）の共同運用を実施し、中小企業等の海外展開を支援。
- 首都圏での販路開拓支援（2017[H29]年度～）  
デザインや実用性に優れた関西の工業製品（消費財）を首都圏の百貨店等において消費者向けに展示販売。

公設試の連携事業として実施している「関西ラボネット」は着実に利用者を伸ばしている。また、ビジネスサポートデスクの利用者数も増加しており、域内の中小企業等を総合的に支援してきた。

⇒ 今後は、これまでの取組みに加え、事業承継など、**中堅・中小事業者が直面する課題への対応方策等について検討が必要。**

### ○これまでの主な取り組み

- 国内プロモーション（2012[H24]年度～2013[H25]年度、2016[H28]年度～）  
デザインや実用性に優れた関西の工業製品（消費財）を発掘・ブランド化（「CRAFT14」）し、域外の大規模展示商談会に出展。連合のブースには2,500人以上の来場があった。
- 海外トッププロモーション（2016[H28]年度）  
台湾、香港において関西のエネルギーやライフサイエンス分野について、広域観光・文化・スポーツ振興局と連携して産業プロモーションを実施。セミナー参加者の81.4%が関西への関心度が向上。
- 海外産業プロモーション（2017[H29]年度～）  
域内のものづくり中小企業の海外における販路開拓を支援するため、アジア地域において海外プロモーションを実施。

海外や国内でのプロモーションを行い、関西への関心、認知度は一定向上。

⇒ 関経連が提唱する関西の地域ブランディングのコア・コンセプトである「はなやか関西」を共有した情報発信や、好調なインバウンドの活用などにより、**関西の魅力を広く発信し、「人・モノ・金・情報」を惹き付け、地域経済の活性化につなげる方策について検討が必要。**

### ○これまでの主な取り組み

- 目指すべき高度産業人材像の提示（2012[H24]年度）  
「関西における高度産業人材の確保・育成について」により、基本的な方向をとりまとめ。
- 高度産業人材に関する関西広域産学官連絡会議の開催（2013[H25]年度～）  
産業界、大学コンソーシアム、大学等の関係機関と広域連合において連絡会議を開催し、情報共有・意見交換を実施。
- インターンシップの実施促進（2014[H26]年度～2017[H29]年度）  
連絡会議においてインターンシップの重要性を確認。インターンシップに興味を持つ企業をまとめたりリスト（225社・団体）や、優れたインターンシップの事例（55事例）を集めた冊子を作成し、関係者あてに配布。
- 人材に関する情報共有（2017[H29]年度～）  
「関西産業人材News Letter」を発行（2017[H29]年5月創刊）。経済団体や大学等に配布。

目指すべき高度産業人材像の提示や、インターンシップの促進など、これまでに一定の成果があったが、高度産業人材の育成にまでは至っていない。

⇒ 人口減少、特に生産年齢人口の減少は確実であり、有効求人倍率が1.5倍を超える（近畿2府4県、2018（H30）年1月）など、労働環境は大きく変化しており、特に中小企業にとっては**人材の確保が喫緊の課題**。人材はそれぞれの戦略に関わる課題であることから、**戦略4そのものの位置づけや取組内容・方策について検討が必要**。

### 3. 目標の状況

#### ○目標

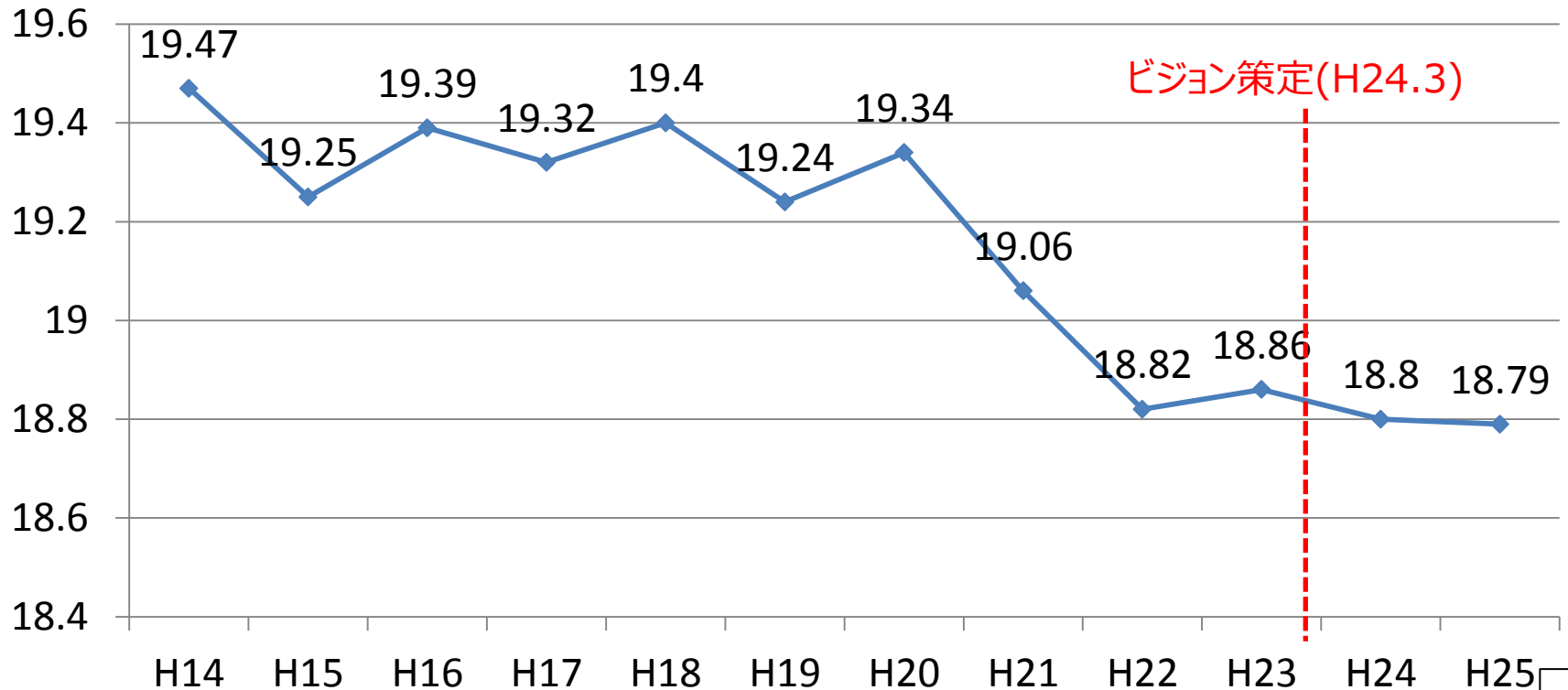
30年後(2040年度)\*の関西(広域経済圏)の経済・産業の国内シェア25%、GRP約1.8倍  
(2010年度比)の約180兆円

\*計画策定(2011年)から30年後

#### ○現状

【国内総生産に占める広域経済圏※の割合】

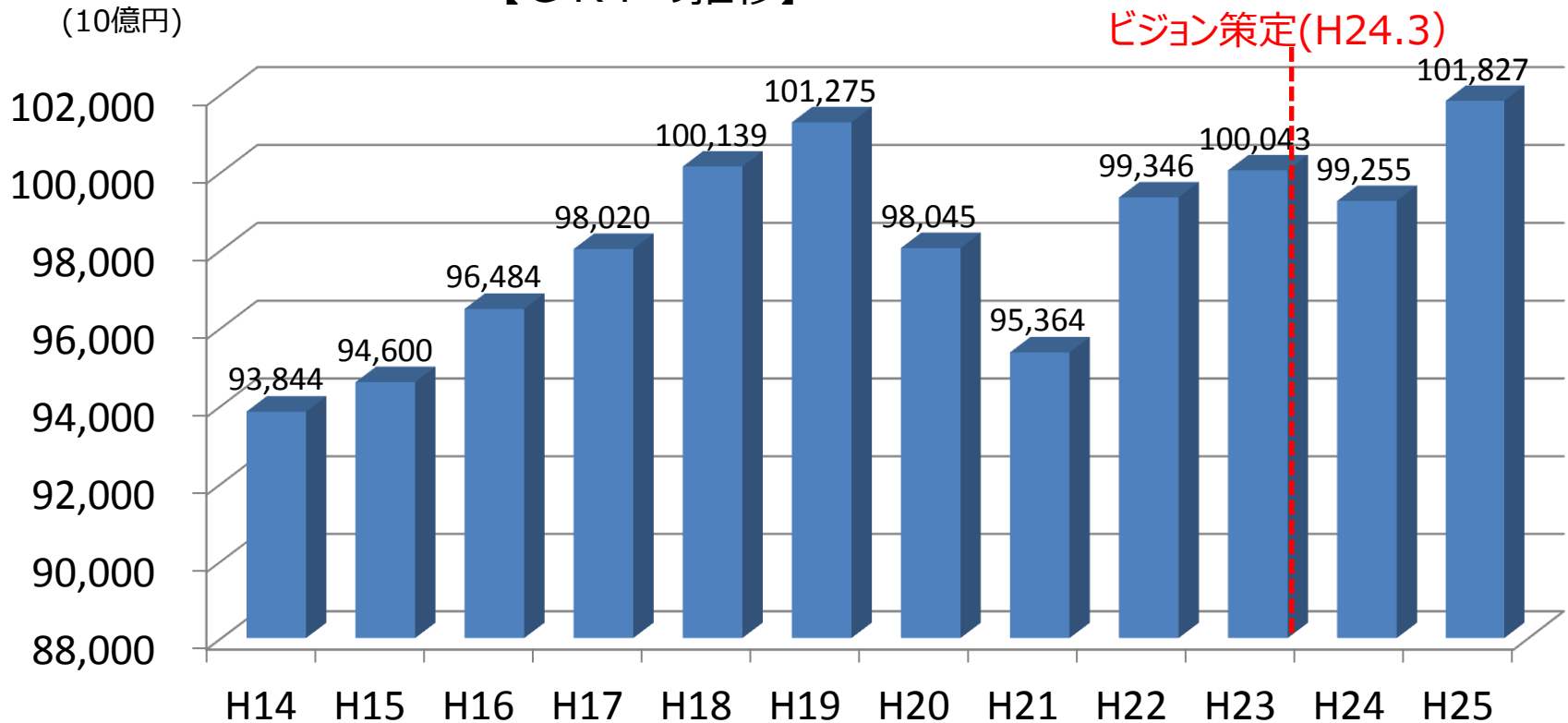
※福井県・三重県を含む広域経済圏





### 3. 目標の状況

【GRPの推移】



GRP及び国内シェアについては、ビジョン策定後、ほぼ横ばい。

## 4. 改訂の方向性

### ◇関西が目指す将来像

■ 今後、20～30年後を展望した、関西のありたき姿を示す。

《検討の視点・論点》

- ・日本とアジアの結節点となるべく、アジアの成長をどのように関西に取り込むか。
- ・日本の成長を牽引する東西二極の一極を担い、アジアの経済拠点を目指すには。
- ・多くの人を引きつける魅力ある地域としていくには。

【事務局(案)】・・・関西を取り巻く環境の変化、これまでの取組み状況等を踏まえ、より具体的な姿を提示

アジアとともに成長する関西  
～日本とアジアの結節点～

東西二極の一極として  
日本の未来を牽引する関西  
～関西の個性・独自の価値～

多様な人々が活躍・共生する関西  
～豊かで持続可能な生活圏～

### ◇目標について

(目標) 30年後(2040年度)\*の関西(広域経済圏) の  
経済・産業の国内シェア25%、GRP約1.8倍 (2010年度比) の約180兆円

\*計画策定 (2011年) から30年後

《検討の視点・論点》

- ・目標の**見直しの必要性**について。

【事務局(案)】

- ・目標値は、策定時に長期を見据え設定したものであることから維持する方向。

## 4. 改訂の方向性

### ◇戦略について

■ 本戦略を構成府県市、経済団体、国等の関係機関と共有するとともに、適切な役割分担のもと、共通の目標に向かって、今後取り組むべき方向性を示す指針（アクションプラン）となるもの

■ これまでの取り組み状況や実績等を踏まえ、各戦略を検証のうえ、再編も含め見直し

《検討の視点・論点》

- ・イノベーション創出機能をどのように担っていくか
- ・中堅、中小企業の競争力強化や新たな成長分野への対応
- ・地域の魅力を生かした経済活性化方策
- ・人材力の強化、多様な人材の確保、生産性の向上

【事務局(案)】・・・関西が目指す将来像の実現に向け、戦略を3つに再編。人材の確保・育成については、3つの戦略全体を支えるものとして整理。

【戦略1】  
関西の先進性を活かした  
イノベーション創出環境・  
機能の強化

【戦略2】  
地域を支える中堅・  
中小企業の成長支援  
(技術力強化・海外展開・  
生産性向上等の支援)

【戦略3】  
個性豊かな地域の魅力を  
活かした地域経済の活性化  
(観光、農林分野等との連携等)

【関西を支える人材の確保・育成】

多様な人材が自らの能力を存分に発揮し、活躍できる環境づくり

## 4. 改訂の方向性

### ◇ビジョンの実現に向けて

■「取組みの具体化」や「実施体制の確立」など、現状に応じた内容に変更。

#### 《検討の視点・論点》

- ・国や経済団体、分野間連携や産官学連携による施策展開
- ・（目標を維持する場合）引き続き2040年までの達成を目指すための手法。
  - 目標達成に向けた道筋（関経連目標(シェア20%)との関係整理)
  - 進捗確認のためのメルクマール(指標、KPI)の検討

【事務局(案)】・・・基本的な構成は維持。将来像の実現に向け、広域連合の他分野（観光、農林等）や、国、経済団体等との連携・協働に取り組んでいく旨を記載。また、ビジョンの進捗状況の参考とするため、関西の経済情勢を示す指標を参考指標として設定し、毎年の進捗確認に活用。

#### （参考指標（案））

- 全体 ・G R P（内閣府「県民経済計算」） ・女性の有業率（総務省統計局「労働力調査」）
  - ・有資格者別外国人数（法務省・在留外国人統計〔在留目的別〕）
- 戦略1 ・開業数（雇用保険事業年報） ・特許出願件数（特許庁「特許行政年次報告」）
- 戦略2 ・国際貿易取引の状況（大阪税関、神戸税関、財務省「貿易統計」）
- 戦略3 ・旅行消費者単価（観光庁「訪日外国人消費動向調査」）